

2023年5月26日

各位

会社名 株式会社大和証券グループ本社  
代表者名 執行役社長 中田 誠司  
(コード番号 8601 東証プライム・名証プレミア)

## B Corporation 認証企業 株式会社クラダシによる 新規株式公開に伴う公募による募集株式発行及び株式売出しのお知らせ

このたび、株式会社大和証券グループ本社傘下の大和証券株式会社は、株式会社クラダシ（以下、「クラダシ」という）が2023年5月26日に東京証券取引所グロース市場への上場承認を受け、同日発行決議を行いました新規株式公開に伴う公募による募集株式発行及び株式売出し（以下、「本IPO」という）の主幹証券を務めておりますので、その概要についてお知らせいたします。

クラダシは、2022年6月にB Corporation 認証（以下、「B Corp 認証」という（注1））を取得しております。B Corp 認証は、米/ペンシルベニア州に拠点を置く非営利団体B Labが運営する、社会や環境に配慮した公益性の高い企業に対する国際的な認証制度です。現在、世界90ヶ国の161業種、6,500以上の企業がB Corp 認証を取得しており（注2）、クラダシは日本で13番目にB Corp 認証を取得しております。なお、本IPOはB Corp 認証企業として、日本で初めてのIPOとなります。

クラダシは、「ソーシャルグッドカンパニーでありつづける」というミッションのもと、3分の1ルール（注3）に抵触した商品、季節商品、終売商品、賞味期限切迫商品、滞留商品など、様々な理由で販路を失い、ブランドイメージ保護及び市場価格保護のために廃棄される商品を買取り、迅速に消費者に販売することで、廃棄物の発生を大幅に削減する仕組みであるソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」を運営しております。フードロスの削減に取り組むと同時に、売上の一部を社会貢献団体に寄付することで、社会性、環境性、経済性を包括したビジネスを展開しております。社会貢献団体へ寄付するだけでなく、その一部をクラダシが運営する「クラダシ基金」に積み立て、クラダシが実施する社会貢献活動の費用に充当しております。

大和証券グループは、経営ビジョン「2030Vision」に掲げる「貯蓄からSDGsへ」をコアコンセプトに、資金循環の仕組みづくりを通じたSDGsの実現を目指します。ステークホルダーの皆様と共に、SDGsやESGに資する取組みを通じた中長期的な企業価値の向上およびサステナブルで豊かな社会の創造に努めてまいります。

投資を行う際は、必ず新株式発行並びに株式売出届出目論見書（及び訂正事項分）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。なお、本IPOでは目論見書の提供を書面ではなく、全て電子交付により行います。目論見書のご請求・お問合わせは、下記の取扱金融商品取引業者までお願いいたします。大和証券株式会社、みずほ証券株式会社、SMBC日興証券株式会社、野村証券株式会社、株式会社SBI証券、東洋証券株式会社、松井証券株式会社、マネックス証券株式会社、楽天証券株式会社

## 本 IPO の概要

発行体	株式会社クラダシ
市場区分	東京証券取引所グロース市場
募集株式の種類及び数	普通株式 1,150,000 株 なお、同時に行われる既存株主による売出し及びオーバーアロットメントの状況は以下の通り ①引受人の買取引受による売出し分 普通株式 2,150,000 株 ②オーバーアロットメントによる売出し分 普通株式 上限 495,000 株
発行決議日	2023 年 5 月 26 日
仮条件決定日	2023 年 6 月 13 日
条件決定日	2023 年 6 月 22 日
上場日	2023 年 6 月 30 日
発行価格	未定（条件決定日に決定）
主幹事証券会社	大和証券株式会社
引受証券会社	大和証券株式会社、みずほ証券株式会社、SMBC 日興証券株式会社、野村証券株式会社、株式会社 SBI 証券、東洋証券株式会社、松井証券株式会社、マネックス証券株式会社、楽天証券株式会社

(注 1)

「B Corporation」とは、米/ペンシルベニア州に拠点を置く非営利団体 B Lab（B ラボ）が運営する、社会や環境に配慮した公益性の高い企業に対する国際的な認証制度であります。ガバナンス、従業員、コミュニティ、環境、カスタマーの 5 つの分野から構成される評価を受けることが認証条件となっており、株主に限らず、すべてのステークホルダーに対する利益へのコミットメントが求められます。

(注 2)

出所：<https://www.bcorporation.net/en-us/>

(注 3)

「3分の1ルール」とは、製造日から賞味期限までを3等分し、納品・販売期限を設ける商慣習のことを指します。製造から最初の3分の1を超過すると納品できないルールのため賞味期限がまだ残っているにもかかわらず廃棄される可能性があります。

以 上

(ご参考) 大和証券グループのサステナビリティに関する取組み：

[https://www.daiwa-grp.jp/sustainability/?cid=ad\\_eir\\_sdgspress](https://www.daiwa-grp.jp/sustainability/?cid=ad_eir_sdgspress)

投資を行う際は、必ず新株式発行並びに株式売出届出目論見書（及び訂正事項分）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。なお、本 IPO では目論見書の提供を書面ではなく、全て電子交付により行います。目論見書のご請求・お問い合わせは、下記の取扱金融商品取引業者までお願いいたします。大和証券株式会社、みずほ証券株式会社、SMBC 日興証券株式会社、野村証券株式会社、株式会社 SBI 証券、東洋証券株式会社、松井証券株式会社、マネックス証券株式会社、楽天証券株式会社

## お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

### 手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗(支店担当者)経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.26500%(但し、最低2,750円)の委託手数料(税込)が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては約定代金に対して最大0.99000%の国内取次手数料(税込)に加え、現地情勢等に応じて決定される現地手数料および税金等が必要となります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動(裏付け資産の価格や収益力の変動を含みます)による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほか、為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価(購入対価・売却対価)のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失が生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および運用管理費用(信託報酬)等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等:大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号

加入協会:日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本 STO 協会

投資を行う際は、必ず新株式発行並びに株式売出届出目論見書(及び訂正事項分)をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。なお、本 IPO では目論見書の提供を書面ではなく、全て電子交付により行います。目論見書のご請求・お問合わせは、下記の取扱金融商品取引業者までお願いいたします。大和証券株式会社、みずほ証券株式会社、SMBC 日興証券株式会社、野村證券株式会社、株式会社 SBI 証券、東洋証券株式会社、松井証券株式会社、マネックス証券株式会社、楽天証券株式会社